

全国紙管工業組合 東部地区部会 台湾研修会報告

日 程 平成 25 年 6 月 13 日 (木) ～ 6 月 16 日 (日)
場 所 台湾
訪 問 先 錦美紙業股份有限公司 (6/13 : 桃園区)
正隆股份有限公司 本社 (6/14 : 新北市板橋区)
正隆股份有限公司 后里工場 (6/14 : 台中市后里区)

去る、平成 25 年 6 月 13 日 (木) から 6 月 16 日 (日) の 4 日間、台湾で開催された東部地区部会主催、技術委員会協賛の研修会に参加させていただきました。

初日、台湾の大手紙管メーカー「錦美紙業股份有限公司」を訪問、紙管の生産量は月間約 1,000 t とかなり多く。フィルム用や製紙用、糸巻用の紙管を主に作っておられました。また、工場内に紙管原紙用の抄紙機が 2 基あり、紙管原紙の生産量は月間 4,500～5,000 t ということで、将来的には日本への輸出も考えているとの事でした。また、紙管や、紙管原紙の品質においても決してレベルが低いという印象はありませんでした。



2日目、アジア有数の製紙メーカー「正隆股份有限公司」の本社を訪問、グループ会社の「山發日本株式会社」の藍副社長から、事業内容や製品についての説明と、台湾や、中国、アジア各国の経済状況や今後の動向など、大変興味深い話も聞かせて頂くことができました。

その後、台湾新幹線で台中に移動し、正隆股份有限公司の主力工場である「后里工場」を訪問、抄紙マシンや、紙管の製造ライン等を見学させて頂きました。建物や機械設備はもちろん、環境にも配慮されたとても素晴らしい工場でした。

また、板紙や紙管等だけでなく、正隆ブランドのBOXティッシュ等の家庭紙や、紙器、段ボール製のオブジェや什器などもされており、それ以外にもグループ会社で他分野においても成長されておられ、藍副社長が弊社（正隆）の株を買えば絶対に損はしないと、力強くおっしゃっていたのが印象的でした。



3日目は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフ組は「大溪 GC」に、観光組は、温泉地でもある「烏来」で買い物や現地のショーを見た後、「故宮博物院」を見学させていただきました。その後ゴルフ組と合流して「台北 101」で世界一速いエスカレーター(1,010m/分)に乗り、こちらは世界一で無くなった展望台(89階/382.2m)から台北の街を見下ろし、夕食には「鼎泰豊」で美味しい小籠包を頂きました。

最終日4日目は、ホテルの前でしていた花市（建國假日花市）を見て歩いたり、「龍山寺」やその周辺を散策したりと、ギリギリまで台湾を満喫し、無事に帰路につくことができました。

まだまだ書ききれない（書けない？）程の色々な事がありましたが、今回、研修会に参加させて頂いて、台湾国内だけでなく海外を舞台に成長しておられる、製紙工場や紙管メーカーを見学させていただき、また、お話を聞かせて頂けた事で、刺激にもなりましたし、自分たちにもまだまだできる事があると感じました。

この場をお借りして、お忙しい中、工場見学等を快く受け入れて頂いた「正隆股份有限公司」「錦美紙業股份有限公司」の方々から心から感謝するとともに、この研修会を企画していただいた、団長の武川社長、幹事の大澤社長をはじめ、東部地区部会の皆様方、そして期間中、本当に良くして頂いた参加者の皆様、本当にありがとうございました。この貴重な経験を活かしてこれからも精進したいと思います。ありがとうございました。

株式会社鈴木松風堂

鈴木 陽



■台湾視察ツアー参加者（11名）

- ・武川産業(株) 武川 和義 [団長]
- ・武川産業(株) 川崎 健一
- ・日本化工機材(株) 大澤 浩一郎 [幹事]
- ・カオル工業(株) 赤柴 勝三
- ・(株)齊藤紙器製作所 齊藤 幸市
- ・日本紙管工業(株) 楠 亘久
- ・(株)竹林紙管 矢野 好幸
- ・三喜紙業(株) 津村 正明
- ・田中紙管(株) 田中 誠司
- ・西日本紙管(株) 下畦 正明
- ・(株)鈴木松風堂 鈴木 陽